

全鉄連流通動態調査結果表平成23年6月分

(23.7.19)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前 月 在 庫 量		仕 入 れ 量		販 売 量		月 末 在 庫 量		
		5月実績	前月比%	6月実績	前月比%	6月実績	前月比%	6月実績	前月比%	
異形棒鋼	東京	26,459	99.8	58,121	114.5	59,645	117.2	24,935	94.2	
	大阪	6,724	97.1	20,793	100.8	20,949	100.6	6,568	97.7	
	愛知	6,206	92.7	2,457	182.3	2,868	156.0	5,795	93.4	
	計	39,389	98.0	81,371	111.9	83,462	113.5	37,298	94.7	
形 鋼	山形鋼	東京	23,282	103.7	8,267	83.4	9,074	100.0	22,475	96.5
		大阪	17,849	112.7	9,063	98.2	8,425	116.0	18,487	103.6
		愛知	11,677	93.6	6,181	143.1	6,024	117.6	11,834	101.3
		計	52,808	103.9	23,511	100.2	23,523	109.6	52,796	100.0
	溝形鋼	東京	14,122	105.4	7,470	103.6	6,557	101.2	15,035	106.5
		大阪	12,399	116.7	6,666	99.2	5,819	117.6	13,246	106.8
		愛知	7,009	101.2	3,557	100.6	3,763	109.0	6,803	97.1
		計	33,530	108.4	17,693	101.3	16,139	108.5	35,084	104.6
	H形鋼	東京	26,980	115.8	14,891	83.7	11,858	83.9	30,013	111.2
		大阪	44,867	108.0	24,745	91.8	22,924	97.0	46,688	104.1
		愛知	22,956	110.6	13,913	106.7	14,759	136.0	22,110	96.3
		計	94,803	110.7	53,549	92.6	49,541	101.9	98,811	104.2
合 計		181,141	108.2	94,753	96.0	89,203	105.0	186,691	103.1	
コ ラ ム	東京	8,504	97.3	2,282	111.0	2,629	115.9	8,137	95.7	
	大阪	10,792	103.7	3,737	116.1	3,277	115.9	11,252	104.3	
	愛知	2,971	95.9	1,106	89.3	1,199	87.7	2,878	96.9	
	計	22,267	100.1	7,105	109.4	7,105	109.9	22,267	100.0	
軽量C形鋼	東京	6,165	138.6	2,192	49.7	2,451	90.9	5,906	95.8	
	大阪	3,360	99.6	1,429	89.4	1,577	97.9	3,212	95.6	
	愛知	2,332	103.3	1,100	94.6	1,266	116.3	2,166	92.9	
	計	11,857	117.6	4,721	65.8	5,294	98.1	11,284	95.2	
総 計		254,654	106.2	187,950	101.5	185,064	108.6	257,540	101.1	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京 37、大阪 24、愛知 15、合計 76社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品目ながら市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しを提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種に、コラムを追加②調査対象品種よりブレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数値をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。